和光大学 2024年度連続市民講座

映像と文学

日程（全4回）

10月 4日（金）　10月11日（金）
10月18日（金）　10月25日（金）

18：30〜20：10

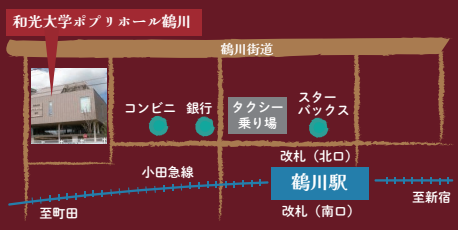
会場

和光大学ポプリホール鶴川 3F 多目的室

小田急線鶴川駅「北口」から徒歩3分

定員 30名（先着順）

受講料 2,000円（全4回）※学生は無料



町田市共催事業／（一財）町田市文化・国際交流財団共催事業
川崎市教育委員会連携事業

和光大学　https://www.wako.ac.jp/

❶ 10月4日（金）
角尾 宣信
表現学部准教授

小説および映像における近年のサラリーマン像と日本社会——池井戸潤原作『半沢直樹』シリーズを題材に

池井戸潤の小説『半沢直樹』シリーズは2004年から2020年にかけて断続的に発表され、小説自体はもちろん、そのドラマ化（2013・2020年）も社会現象となるヒットを記録した。これらメディアを横断する作品群とそこでのサラリーマン像は、なぜかくも日本の大衆を虜にし得たのか。原作小説とドラマの異同を確認しつつ、90年代以降の日本の経済体制の大規模な変容も視野に入れ、考察していく。

❷ 10月11日（金）
沖田 瑞穂
表現学部教授

インド神話と『バーフバリ』の世界

2017年に公開され、2018年に日本で大流行したインド映画に『バーフバリ』がある。（二部構成。「伝説誕生」「王の凱旋」。）本作品は、架空の古代インドを舞台としたファンタジー作品であるが、その背景には『マハーバーラタ』などのインド神話の要素がちりばめられている。本講義では、『バーフバリ　王の凱旋』の一部を鑑賞しながら、どのように神話が映像に取り入れられているか、見ていきたい。

❸ 10月18日（金）
宮﨑 かすみ
表現学部教授

意識の流れを表現する－『ダロウェイ夫人』で紡がれる言葉たちと映像表現

いくつかの英文学の名作の映像化作品を比較して鑑賞してみる。言葉で表現されたものが、どのように映像化されてゆくのか。言語による表現が、映像化によってどう変容し、新たな表現の地平を切り開くのか。様々な事例について、主にトマス・ハーディ『テス』、ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』を手掛かりにして考えてみたいと思う。

❹ 10月25日（金）
名嘉山 リサ
表現学部教授

『八月十五夜の茶屋』の映像化と脱沖縄化

戦後沖縄を舞台にした『八月十五夜の茶屋』は、小説から演劇、映画へと翻案された人気作である。小説の作者ヴァーン・スナイダーは、沖縄に駐屯した経験を元に、沖縄や沖縄の人々をある程度現実的に描いた。一方、ジョン・パトリックによって翻案された演劇と映画は、人物がステレオタイプ化され、小説の登場人物とは異なっている。小説と映画の違いを言語や身体の面から考えたい。

角尾 宣信［つのお よしのぶ］

専攻分野
戦後日本文化史

主な担当科目
笑いの歴史

沖田 瑞穂［おきた みずほ］

専攻分野
神話学

主な担当科目
神話学

宮﨑 かすみ［みやざき かすみ］

専攻分野
英文学・思想史

主な担当科目
日英比較文化論

名嘉山 リサ［なかやま りさ］

専攻分野
英語圏の表象文化

主な担当科目
シネマ・スタディーズ
（映画研究）

文学や神話は映像化されることがあります。その過程で、元の文学が映像化によって変化される場合もあります。
その変化とはどのようなものなのでしょう。映像ならではの表現とは何なのでしょう。
また、神話を文学の一種であるとした場合、その世界観を基にして映像作品が作成されることも見られます。
そのことによって、映像にどのような効果が生まれるのでしょう。
今回の講座では、日本のサラリーマン像の表現、インド神話が土台となったインド映画の中にある文学的表現、映像化された英文学、戦後沖縄を舞台にした小説の映像化について取り上げ、それぞれ映像において文学がどのように展開されるか考えていきます。

お申し込み方法

Peatix（ピーティックス）で受付いたします！

Peatixの和光大学イベントページにアクセスしてお申し込みください。

https://wako.peatix.com/

※ インターネット（Peatix）以外でのお申し込みはできません。
※ お支払いは「クレジットカード払い」または「コンビニ／ATM払い」となります。
※ **学生の方は**、メールの件名を「2024連続市民講座 学生申し込み」とし、本文に ① **氏名**、② **学校名**、③ **電話番号 を明記の上**、下記メールアドレス宛にご連絡ください。

お申し込み期間
9月15日（日）～ 30日（月）

講座に関するお問い合わせ
和光大学 企画係 大学開放フォーラム

☎ **044-988-1433**（月～金/9:00～16:30）

✉ **open@wako.ac.jp**

Peatix
和光大学イベントページ

和光大学